



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9479 URL <https://www.impressholdings.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 大輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 山手 章弘 (TEL) 03-6837-5000 (代)  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,785	3.3	633	55.1	667	50.0	479	39.3
2020年3月期第2四半期	6,566	8.1	408	138.3	445	129.2	344	△4.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 469百万円( 29.3%) 2020年3月期第2四半期 362百万円( 137.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	14.46	—
2020年3月期第2四半期	10.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	13,704	8,345	60.9	249.43
2020年3月期	13,086	7,887	60.3	239.07

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 8,341百万円 2020年3月期 7,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	2.50	2.50
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	△0.1	450	4.2	540	3.5	375	0.0	11.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.12「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	37,371,500株	2020年3月期	37,371,500株
2021年3月期2Q	3,931,279株	2020年3月期	4,377,499株
2021年3月期2Q	33,167,399株	2020年3月期2Q	32,996,741株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

当社は、有価証券の取引等の規制に関する内閣府令第49条第2項に規定する特定上場会社等に該当し、インサイダー取引規制の重要事実の軽微基準については連結ベースの数値に基づいて判断することとなります。

事業セグメント区分	主要な事業区分		主要な事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス、ターゲットメディア等	㈱インプレス ㈱IAD 英普麗斯(北京)科技有限公司
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		出版流通プラットフォームの開発・運営等	
音楽 (音楽分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱リットーミュージック
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		ECプラットフォームの開発・運営等	
デザイン (デザイン分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱エムディエヌコーポレーション
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱山と溪谷社
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
モバイルサービス (モバイル関連のコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱ICE
		ソリューション	電子書籍ファイルの受託制作	
	プラットフォーム事業		電子コミックプラットフォームの開発・運営等	
その他			出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、出版流通プラットフォームの開発・運営等	㈱近代科学社 ㈱インプレスR&D ㈱クリエイターズギルド ㈱天夢人 ㈱iDMP Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 グループ各社の経営管理、販売・物流管理	㈱インプレスホールディングス(当社) ㈱Impress Professional Works

## (当第2四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント損益は、営業損益をベースとしております。

当第2四半期連結累計期間につきましては、書籍の返品減少や電子出版が好調に推移したことに加えて、国内向け受託案件の増加やIT分野のターゲット広告等の増収があったものの、コロナ禍における新刊刊行の遅れや出版広告の減少等による雑誌事業の減収、イベント・セミナーの開催数の減少等による減収により、コンテンツ事業の売上高は前期（5,562百万円）並みに推移し、5,546百万円となりました。プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業による電子コミックプラットフォーム事業や音楽分野の楽器マーケットプレイス「デジマート」が好調に推移し、売上高が前期（1,067百万円）に比べ25.7%増加し、1,341百万円となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期（6,566百万円）に比べ3.3%（218百万円）増加し、6,785百万円となりました。営業利益につきましては、増収と売上原価の減少等による収益性の改善により、前年同期（408百万円）に比べ225百万円増加し、633百万円となりました。経常利益につきましては、前年同期（445百万円）に比べ222百万円増加し、667百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期（344百万円）に比べ135百万円増加し、479百万円となりました。

## (セグメント別の概況)

## ① IT

ITセグメントにつきましては、雑誌の季刊化、コロナ禍における出版広告及びイベント・セミナーの開催数の減少等による減収があったものの、電子出版の販売増や書籍の返品減少に加えて、PV増加等によりデジタル広告が好調に推移、イベント開催の減少によりターゲット広告の需要が高まったことで、コンテンツ事業の売上高は前期（2,688百万円）に比べ0.6%増加し、2,704百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、パートナー出版社の電子書籍の販売が好調であったことにより、売上高は前期（79百万円）に比べ34.2%増加し、105百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、前年同期（2,767百万円）比1.5%増の2,810百万円となりました。セグメント利益は、増収と売上原価の減少等による収益性の改善により、前年同期（239百万円）と比べ203百万円増加し、443百万円となりました。

## ② 音楽

音楽セグメントにつきましては、音楽アーティスト関連の大型受託案件によりソリューション事業の売上高が増加したものの、雑誌の季刊化等による減収に加えて、前年同期に音楽アーティスト関連のムック本のヒットがあった反動による減収等により、コンテンツ事業の売上高は前期（775百万円）に比べ13.8%減少し、668百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、楽器マーケットプレイス「デジマート」（<https://www.digimart.net/>）における楽器店からの決済サービス収入の増加により、売上高は前期（148百万円）に比べ27.3%増加し、189百万円となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（924百万円）比7.2%減の858百万円となりました。セグメント利益は、減収と収益性の低下により、前年同期（11百万円）と比べ35百万円減少し、23百万円の損失となりました。

③ デザイン

デザインセグメントにつきましては、前年同期に趣味・実用分野の「スクラッチアート」シリーズのヒットがあった反動で新刊書籍が減収となったものの、電子出版及び既刊書籍の出荷が好調に推移したことにより、コンテンツ事業は増収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（466百万円）比11.8%増の520百万円となりました。セグメント利益では、増収と収益性の改善により、前年同期（37百万円）と比べ40百万円増加し、77百万円となりました。

④ 山岳・自然

山岳・自然セグメントにつきましては、電子出版及び既刊書籍の出荷が好調に推移したものの、コロナ禍における雑誌事業の減収や新刊書籍及びムックの刊行遅れ等が影響し、コンテンツ事業は減収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（1,023百万円）比3.6%減の986百万円となりました。セグメント利益では、減収と収益性の低下により、前年同期（139百万円）と比べ37百万円減少し、101百万円となりました。

⑤ モバイルサービス

モバイルサービスセグメントにつきましては、電子出版が好調に推移したものの、英語関連教材の販売減による減収等により、コンテンツ事業の売上高は前期（134百万円）と比べ2.2%減少し、131百万円となりました。

プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業によるデジタルコミック等の販売プラットフォームの大幅な増収により、売上高は前期（759百万円）と比べ26.6%増加し961百万円となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期（893百万円）比22.3%増の1,092百万円となりました。セグメント利益では、増収と収益性の改善により、前年同期（103百万円）と比べ142百万円増加し、246百万円となりました。

⑥ その他

その他セグメントにつきましては、コロナ禍における刊行遅れなどにより理工書の販売が減少したものの、著書向けPOD出版プラットフォームサービスの販売増加に加え、鉄道分野のパートナー受託案件が好調に推移したことにより、売上高は前年同期（556百万円）比12.1%増の623百万円となりました。セグメント利益では、増収と収益性が改善したものの販売管理費が増加したことにより、前年同期（18百万円）と比べ15百万円減少し、2百万円となりました。

⑦ 全社

全社区分につきましては、純粋持株会社である当社と、グループの経営管理及び販売・物流管理機能を担う(株)Impress Professional Worksで構成されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入やグループ内手数料の増加等により、前年同期（788百万円）比11.3%増の877百万円となりました。セグメント利益では、人件費の増加はあったものの増収により、前年同期（10百万円）と比べ30百万円増加し、41百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、受取手形及び売掛金の回収が進んだことに加えて、満期保有目的債券の償還及び投資有価証券の売却により現金及び預金が増加したほか、季節変動要因により商品及び製品や仕掛品が増加した結果、前連結会計年度末に比べ618百万円増加し13,704百万円となりました。負債につきましては、季節変動要因に伴う買掛金の増加等により160百万円増加し5,359百万円となりました。純資産につきましては、配当金の支払いによる減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、457百万円増加し8,345百万円となりました。

自己資本は8,341百万円となり、自己資本比率は60.9%と前連結会計年度末(60.3%)と比べ0.6ポイントの増加となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、季節変動要因によるたな卸資産の増加288百万円による資金の減少(前年同期比1百万円の減少)はあったものの、税金等調整前四半期純利益664百万円の計上(前年同期比218百万円の増加)や売上債権の回収による資金の増加226百万円(前年同期比314百万円の減少)等により、営業活動によるキャッシュ・フローは816百万円の資金を獲得しております。(前年同期比119百万円の増加)

投資活動によるキャッシュ・フローは、満期保有目的債券の償還及び投資有価証券の売却等により、417百万円の資金を獲得しております。なお、前年同期においては、固定資産の取得に係る支出等に限られていたため、前年同期と比べ大幅に増加しております。(前年同期比508百万円の増加)

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の圧縮により62百万円の資金が減少(前年同期比52百万円の減少)し、加えて配当金の支払81百万円(前年同期比16百万円の減少)等により、141百万円の資金が減少しております。(前年同期比74百万円の増加)

以上により、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は、前年同期末と比べ1,446百万円の資金が増加し、6,143百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間において、コロナ禍によるマイナス影響はあったものの、電子出版の販売増や書籍の返品減少、デジタルコミック等の販売プラットフォーム事業やターゲット広告が好調に推移したことにより、2020年11月4日に業績予想を上方に修正しております。

なお、通期の連結業績予想につきましては、書籍及びカレンダー・年賀状ムックなどの大型季節商品の返品、コロナ禍の景気低迷による広告・受託案件の減少など当下半期に懸念される下振れリスクに加え、リモートワークをベースとした業務ワークフロー構築へのDX投資、ファシリティ環境の整備等への一定規模の投資を勘案した予想となっております。

## 連結業績予想(通期)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
2020年8月12日発表予想(A)	13,500	350	450	320	9.70円
2020年11月4日発表修正予想(B)	13,500	450	540	375	11.26円
増減額(B-A)	—	100	90	55	—
増減率	—	28.6%	20.0%	17.2%	—

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,051,529	6,143,467
受取手形及び売掛金	3,998,341	3,771,618
有価証券	400,000	100,000
商品及び製品	1,102,519	1,203,711
仕掛品	135,579	322,878
その他	502,896	460,915
返品債権特別勘定	△18,100	△13,800
貸倒引当金	△1,984	△581
流動資産合計	11,170,781	11,988,209
固定資産		
有形固定資産	388,688	368,988
無形固定資産		
ソフトウェア	151,995	148,190
その他	14,445	14,445
無形固定資産合計	166,440	162,636
投資その他の資産		
投資有価証券	633,236	482,256
繰延税金資産	263,453	270,323
その他	463,798	432,025
投資その他の資産合計	1,360,489	1,184,605
固定資産合計	1,915,618	1,716,229
資産合計	13,086,400	13,704,439
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,417,445	1,590,873
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	75,000
未払法人税等	84,870	197,612
賞与引当金	196,561	170,584
返品調整引当金	159,941	174,718
その他	1,391,083	1,311,477
流動負債合計	3,699,902	3,870,266
固定負債		
長期借入金	187,500	150,000
繰延税金負債	2,168	—
退職給付に係る負債	1,203,406	1,233,228
長期末払金	104,242	104,242
その他	1,425	1,425
固定負債合計	1,498,742	1,488,895
負債合計	5,198,644	5,359,161

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,667,861	1,655,543
利益剰余金	1,676,102	2,073,184
自己株式	△781,315	△701,622
株主資本合計	7,903,669	8,368,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,144	△333
為替換算調整勘定	51,241	50,404
退職給付に係る調整累計額	△87,300	△77,182
その他の包括利益累計額合計	△15,913	△27,111
非支配株主持分	—	4,262
純資産合計	7,887,755	8,345,277
負債純資産合計	13,086,400	13,704,439

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	6,566,983	6,785,811
売上原価	3,972,636	3,845,090
売上総利益	2,594,346	2,940,721
返品調整引当金戻入額	2,565	—
返品調整引当金繰入額	—	10,477
差引売上総利益	2,596,912	2,930,244
販売費及び一般管理費	2,188,351	2,296,651
営業利益	408,560	633,593
営業外収益		
受取利息	749	612
受取配当金	835	765
持分法による投資利益	31,666	31,602
その他	6,799	4,174
営業外収益合計	40,050	37,154
営業外費用		
支払利息	2,120	2,076
為替差損	254	318
支払手数料	750	—
その他	39	404
営業外費用合計	3,164	2,800
経常利益	445,446	667,948
特別利益		
投資有価証券売却益	—	35,391
特別利益合計	—	35,391
特別損失		
投資有価証券売却損	—	39,000
特別損失合計	—	39,000
税金等調整前四半期純利益	445,446	664,339
法人税、住民税及び事業税	102,593	185,010
法人税等調整額	△1,530	△1,099
法人税等合計	101,063	183,910
四半期純利益	344,383	480,429
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	862
親会社株主に帰属する四半期純利益	344,383	479,566

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	344,383	480,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,768	△20,478
為替換算調整勘定	1,048	△836
退職給付に係る調整額	14,622	10,118
その他の包括利益合計	18,439	△11,197
四半期包括利益	362,823	469,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	362,823	468,369
非支配株主に係る四半期包括利益	—	862

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	445,446	664,339
減価償却費	55,823	54,987
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	36,088	29,821
退職給付に係る調整累計額の増減額 (△は減少)	16,152	11,217
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△58,159	△25,929
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△9,565	14,777
返品債権特別勘定の増減額 (△は減少)	7,000	△4,300
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△39,563	△1,403
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	43,779	—
受取利息及び受取配当金	△1,584	△1,377
支払利息	2,120	2,076
持分法による投資損益 (△は益)	△31,666	△31,602
為替差損益 (△は益)	△6	△50
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	3,608
売上債権の増減額 (△は増加)	540,815	226,623
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△286,648	△288,569
仕入債務の増減額 (△は減少)	95,312	191,152
その他	△49,667	39,217
小計	765,675	884,587
利息及び配当金の受取額	21,050	26,445
利息の支払額	△2,347	△2,079
法人税等の還付額	304	25,533
法人税等の支払額	△87,848	△117,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	696,833	816,815
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	—	300,000
有形固定資産の取得による支出	△46,751	△5,750
無形固定資産の取得による支出	△26,777	△32,454
投資有価証券の取得による支出	△298	△15,300
投資有価証券の売却による収入	—	193,692
関係会社株式の取得による支出	△10,071	—
敷金及び保証金の差入による支出	△5,956	△21,453
敷金及び保証金の解約による収入	970	187
その他	△3,000	△1,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,885	417,031

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△115,148	△62,500
自己株式の取得による支出	△327	△309
配当金の支払額	△98,204	△81,811
非支配株主からの払込みによる収入	—	3,400
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,650	—
その他	△345	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△215,675	△141,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	△379	△689
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	388,894	1,091,937
現金及び現金同等物の期首残高	4,312,452	5,051,529
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△4,190	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,697,156	6,143,467

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	2,767,374	924,266	466,053	1,023,303	893,689	6,074,687	556,348	△64,052	6,566,983
セグメント利益	239,998	11,594	37,482	139,321	103,835	532,233	18,687	△142,360	408,560

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、Webサイト等の受託制作及び出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。

2. セグメント利益は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△142,360千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△64,052千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△768,858千円、セグメント間の営業費用の取引消去690,550千円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	2,810,260	858,079	520,863	986,843	1,092,968	6,269,014	623,828	△107,031	6,785,811
セグメント利益 又は損失(△)	443,545	△23,688	77,913	101,630	246,344	845,746	2,974	△215,127	633,593

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、Webサイト等の受託制作及び出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。

2. セグメント利益は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△215,127千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△107,031千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△818,855千円、セグメント間の営業費用の取引消去710,760千円が含まれております。